

# 一定の投資性金融消費の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」 (投資信託編)

1. 商品等の内容 (当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売を行っています)	
金融商品の名称・種類	キャピタル世界株式ファンド
組成会社(運用会社)	キャピタル・インターナショナル株式会社
販売委託元	キャピタル・インターナショナル株式会社
金融商品の目的・機能	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本とします。実質的に世界各国の株式等へ分散投資をすることで信託財産の中長期的な成長を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	・グローバルへの投資を通じて長期的な資産成長を求める投資家に適しています。 ・元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	この金融消費は、複数の金融商品を組み合わせた商品です。これらを個別の金融商品として購入することはできません。
クーリングオフの有無	クーリング・オフ(契約日から一定期間、解除できる仕組み)の適用はありません。

2. リスクと運用実績 (本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)	
損失が生じるリスクの内容	組入有価証券等の価格変動による影響を受けます。組入有価証券等の発行者の倒産や財務状況の悪化による影響を受けます。為替相場の変動による影響を受けます。当ファンドへの投資に当たっては、主に以下のリスクを伴います。「価格変動リスク」「為替変動リスク」「金利変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「カントリーリスク」
〔参考〕過去一年間の収益率	-0.068
〔参考〕過去5年間の収益率	平均 16.1% 最低 -10.0%(2018年12月) 最高 66.8%(2021年3月); (2017年10月～2022年9月の各月末における直近1年間の数字)

※詳しくは交付目論見書をご確認ください。

3. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)	
購入時に支払う費用(販売手数料など)	購入価格に3.3%(税抜き3.0%)乗じて得た額となります。
継続的に支払う費用(信託報酬など)	実質的な信託報酬は年1.701%程度(税込)となります。
運用成果に応じた費用(成功報など)	かかりません。

4. 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)	
この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還の場合があります。	
この商品の解約手数料はかかりません。	
一定の金額を超える換金のご請求に制限を設けること、または純資産総額に対し一定の比率を超える換金のご請求を制限する場合があります。;取引所等における取引停止等、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情がある時は、換金・解約のお申込みの受付を停止することおよびすでに受付けた換金・解約のお申込みの受付を取消すことがあります。	

5. 当社の利益とお客様の利益が反する可能性	
お客様が商品を保有している期間中、信託報酬のうち販売会社分として年率0.825%(税抜き0.075%)の手料をいただきます。これはお客様への購入後の情報提供、運用報告書等各書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い義務等に係る対価です。	
—	
—	
・この商品の購入時お客さまより直接お支払いいただく購入時手数料、および保有している期間中、販売会社として楽天証券が受け取る信託報酬のうち、それぞれ一定の報酬率に乗じた手数料を当社は受け取ります。 これは商品や投資環境の説明及び情報提供等、ならびに購入に関する事務手続き等に係る対価です。 ・当社営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるような場合はありません。 ※利益相反の内容とその対処方針についてはこちらをご参照ください。	

※利益相反の内容とその対処方針については、「顧客本位の給業務運営に関する原則」「取組方針」をご参照ください。

6. 租税の概要 (NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象かい否かもご確認ください)	
■分配時 所得税および地方税 配当所得として課税(普通分配金に対して20.315%)	
■換金(解約)時および償還時 所得税および地方税 譲渡所得として課税(換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)にたいして20.315%)	
■その他・この商品は「NISA」の対象ファンドです。	

7. 投資信託に関する Q&A	
あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何ですか。	・投資信託は、運用利回りが確定しておらず、基準価額の変動によっては元本割れする可能性があります。より長期の運用においては経済の成長に沿ったリターンが期待できます。したがって、ある程度リスクを許容しつつ、長期の資産形成目的でご利用いただくのにふさわしい商品です。積立や保有銘柄(投資対象)の分散を合わせて行うことでよりリスクを抑えた運用が可能となります。
この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。	担当 IFA より商品や投資環境の説明および情報提供等を受けることができます。
この商品が複数の商品と組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。	・投資信託は一般的に組入銘柄を分散して投資を行うため、個別の株式を購入するよりもリスクが分散されています。また、投資信託の中には複数の資産を組み合わせたバランス型ファンドがあり、それらを選択することで、投資対象の分散も行えます。
リスクについて、理解できるように説明してほしい。	保有する商品の特性によって、以下のリスクを含む場合があります。 ・価格変動リスク：実質的に運用する資産の価格が下落するリスク ・為替変動リスク：外貨建資産について、為替レートの変動により下落するリスク ・流動性リスク：投資する資産の流動性が低下することで期待する価格で売買ができないことによる下落リスク ・信用リスク：発行体の経営状況の悪化等により当該有価証券の価格が下落するリスク ・カントリーリスク：投資対象国・地域の政治、経済および社会情勢の変化により価格が下落するリスク
相対的にリスクが低い類似商品があれば、説明してほしい。	・投資信託のリスクは組入れている資産の特性により異なります。一般的には株式より債券の方がリスクを抑えた運用になります。
私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してください。	ファンドを保有している期間中は、投資報酬を負担いただきます。 信託報酬が年0.22%の場合、100万円に対して以下のコストがかかります。 計算例：100万円×0.22%=2,200円
費用がより安い類似商品はありますか？	・「投信スパーサーチ」で「楽天証券分類」を指定いただくことで、同じ分類内での費用比較ができます。
私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような姓げにや不利益があるのかについて説明してください。	・換金・解約時には、信託財産留保額がかかる場合があります。 ・売却代金はファンドごとに定められた受渡日まで受け取ることができません。

契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結事前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、紙でお渡しします。